













各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和6年8月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  路線価 29 都道府県で上昇
- (2)  高速道路の橋 改修期間半減 大林組、交通規制を短縮
- (3)  書店ゼロの自治体 全国で28%
- (4)  エスカレーター事故多発 「速い」と感じたら注意
- (5)  学校PTA会費1割安 コロナ機に活動スリム化
- (6)  消える書店 住民と守る 10年で3割減、存続へ知恵
- (7)  関西「まちの本屋さん」奮闘 和歌山・奈良、減少率低く
- (8)  「生活道路」制限、2026年から
- (9)  大阪市、転入超過3.1万人 自然減も多く
- (10)  鉄鋼や木材、価格上昇鈍化 資材値上げ 需要不足が阻む
- (11)  平均寿命、3年ぶり延びる
- (12)  老後資産の減少 85歳でも1割台



(1) 路線価 29 都道府県で上昇

伸び率2.3%、2010年以降で最高 訪日客・再開発押し上げ

*2024年1月1日時点の路線価は、29都道府県で平均値が上昇。

*路線価：主要道路に面した土地1M²あたりの標準価格。相続税や贈与税の算定基準。

*全国平均は前年比2.3%の上昇。

*平均上昇率がトップだったのは福岡県。

*東京都心5区のオフィスビル空室率は、2024年5月は5.48%と緩やかに回復。

*2023年度の首都圏の新築マンション1戸当たり平均販売価格は、前年度比9.5%上昇。

*2023年の訪日客数は、コロナ禍前の8割まで戻りました。

(2024年7月2日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(2) 高速道路の橋 改修期間半減 大林組、交通規制を短縮

- *大林組が高速道路の橋で、更新にかかる作業期間を半分に短縮できる新工法。
- *従来より3割ほど軽いコンクリート部材に丸ごと取り換える方法。
- *橋の部材を吊り上げる専用の機械を使い、橋桁とアスファルト舗装の土台となる「床版」を一体で交換。
- *工事費用は1~2割増。
- *交通規制が短くなり、高速道路会社にとっては事業全体のコストが従来より安くなるといえます。

(2024年7月5日 日本経済新聞記事より抜粋)

(3) 書店ゼロの自治体 全国で28%

ネット通販普及と雑誌減で苦境に

- *2024年3月時点の全国の書店数は7973店と、2022年9月時点8582店から7.1%減。
- *書店ゼロの自治体の割合も1.5ポイント上昇。
- *地域内に書店が1店しかない自治体も47.4%。
- *インターネット通販の浸透にもかかわらず書店が増えている国も。
- *米国書店協会の会員数は2023年に11%増え、米国内では3年連続で200以上の独立系書店が開店しています。

(2024年7月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) エスカレーター事故多発

「速い」と感じたら注意 手押し車で高齢者転倒、死亡例も

- *2018~2018年の2年間で発生したエスカレーターの事故件数は1550件で、被害者が60歳以上だった事例は約46%。
- *手押し車を使用している際の事故は、2018~2019年で51件発生。
- *エスカレーターに乗った時に今までより速いと感じるかどうか、事故に遭う危険性を判断する一つの目安。

(2024年7月17日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(5) 学校PTA会費1割安 コロナ機に活動スリム化

- *公立小中学校のPTA会費が下がっています。
- *共働き世帯や一人親家庭が増えるなか、かつても「一人一役」を前提にした運営手法に終止符を打ち、活動のスリム化が進みます。

☆PTA

- *保護者と学校関係者でつくるボランティアの団体。
- *学校単位で組織。
- *主に児童・生徒の家庭と教員から集める会費が運営の原資。
- *会費の金額はPTA自身が定める。

- *PTA会費は、1世帯当たり年間2000～3000円台が多いです。
- *平均は2024年4月時点で小学校が3158円、中学校は3320円。
- *2020年4月を約1割下回る水準。

(2024年7月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(6) 消える書店 住民と守る

10年で3割減、存続へ知恵

- *雑誌や書籍の落ち込みやネット書店の台頭で、全国の書店数は10年間で3割減。
- *青森県八戸市は全国でも珍しい公営書店を運営。
- *2023年の書籍の推定販売額は6194億円と、ピークの1996年に比べて43%減。
- *雑誌は72%減。
- *6月18日時点の全国の書店数は10,667店。
- *2014年6月に比べて4607店減りました。
- *書店が1軒もない「無書店自治体」も全体の約4分の1に。

順位	都道府県	書店の減少数 (店)	減少率 (%)
1	東京	-601	-34.2
2	大阪	-399	-36.1
3	愛知	-267	-29.3
6	兵庫	-222	-31.6

※2024年6月時点と2014年6月時点の比較

(2024年7月20日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(7)  関西「まちの本屋さん」奮闘

和歌山・奈良、減少率低く

- * 全国の本屋数は過去10年で3割減少。
- * 関西2府4県の減少率は和歌山、奈良、京都、滋賀が全国平均より低く。
- * 和歌山、奈良はそれぞれ全国1位、2位の低さで、書店が比較的残っています。

☆2024年の書店数と10年前と比べた減少率

府県名	店舗数	減少率%
和歌山県	113	0.9
奈良県	116	17.7
京都府	273	27.8
滋賀県	127	28.7
兵庫県	480	31.6
大阪府	707	36.1



(2024年7月20日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(8)  「生活道路」制限、2026年から

閣議決定 法定速度 60→30キロ

* 政府は、中央線がなく道幅の狭い「生活道路」の法定速度を自足30キロに制限する改正道路交通法施行令を閣議決定。 *2026年9月に施行する予定。

* 一般道の7割が該当。 * 一般道の法定速度は現在60キロ。

* 道幅5.5M未満の道路が該当。

(2024年7月24日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(9)  **大阪市、転入超過 3.1 万人 自然減も多く**

- *2024年1月1日時点で、大阪市は転入者数から転出者数を引いた転入超過（社会増）が市区別で2年連続全国最多。
- *死亡数から出生数を引いた自然減（15,725人）は全国で2番目に多く。
- *大阪市の社会増は前年比24.48%増の31,780人。
- *そのうち日本人は14,774人で30.71%増。 *20代前半の転入が多くありました。
- *関西では大阪への一極集中が加速。 *外国人の社会増も17,006人と全戸最多。
- *2018年から2022年までの平均合計特殊出生率は1.16。
- *京都市は日本人の社会減（1,633人）が全国で7番目に多く、自然減（9,168人）も6番目に多くなりました。
- *住宅価格が高騰し、子育て世代の流出が続いています。
- *神戸市は人口減少数が全国で最も多くなりました。

関西の人口、0.39%減

- *関西2府4県では、全府県で人口（2024年1月1日時点）が前年より減り、総人口は20,329,684人と前年比0.39%減。
- *総人口に占める外国人の比率が最も多かったのは、大阪府で3.38%。

関西2府4県いずれも総人口が減った		
府県	総人口（人）	前年比増減率 （%）
滋賀	1,410,534	-0.24
京都	2,488,075	-0.53
大阪	8,775,708	-0.10
兵庫	5,426,863	-0.60
奈良	1,315,207	-0.77
和歌山	913,297	-1.21
合計	20,329,684	-0.39

（2024年7月25日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(10)  **鉄鋼や木材、価格上昇鈍化**

資材値上げ 需要不足が阻む 賃上げ分転嫁難しく

- *7~9月に値上がりが見込まれる産業資材は、主要品目の3割。
- *針葉樹合板国内メーカーは4~6月期、原料費の増加を理由に値上げを打ち出し受け入れられました。
- *一段の価格引き上げを要請しましたが、顧客に難色を示されています。
- *5月の新設住宅着工戸数は前年同月比5%減。
- *持ち家の需要は弱く、30か月連続の前年比マイナス。
- *鉄筋用小形棒鋼メーカーは4~6月期、値上げを試みましたが実現しませんでした。

(2024年7月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(11)  **平均寿命、3年ぶり延びる**

女性 87.14 歳、男性 81.09 歳 昨年 コロナ死者減、影響か

- *2023年の日本人の平均寿命は女性が87.14歳、男性が81.09歳。
- *前年比で女性は0.05歳、男性は0.04歳延びました。
- *延びるのは3年ぶり。
- *女性は前年と同じく世界1位。
- *男性は4位から5位に。
- *女性は2位スイス85.9歳、3位フランス85.75歳。
- *男性は1位スイス82.3歳、2位スウェーデン81.58歳、3位ノルウェー81.39歳。

(2024年7月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(12)  **老後資産の減少 85歳でも1割台**

「長生き」意識、節約志向

- *世帯当たりの金融資産は年齢を重ねるにつれ右肩上がりに増え、定年時の60~64歳がピークに。
- *平均保有資産は1800万円強。
- *65歳以降になると資産を取り崩す動きが出るものの、85歳以上でも1500万円強と、減少率は1割台半ば。
- *60歳以上の高齢世帯が国内の消費支出に占めるシェアは4割。

(2024年7月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)